

## 用途地域

建築のルールは建築する場所によって変わってきます。それは「用途地域」とよばれる地域になります。異なった用途の建築物が混在していると、効率的な生活や生産活動が行いにくくなります。そこで住居地・商業地・工業地などの種類に土地利用を区分して、同じ用途の地域を形成します。これを「用途地域」として定めています。

旭市では、下記のとおり7種類の用途地域をJR旭駅と干潟駅周辺に指定しています。

### 第一種中高層住居専用地域



中高層住宅のための地域です。病院・大学、500 mまでの一定のお店などが建てられます。

### 第一種住居地域



住居の環境を守るための地域です。3,000 mまでの店舗・事務所・ホテルなどが建てられます。

### 第二種住居地域



主に住居の環境を守るための地域です。店舗、事務所、ホテルなどが建てられます。

### 商業地域



銀行・映画館・飲食店・百貨店などが集まる地域です。住宅や小規模の工場も建てられません。

### 近隣商業地域



まわりの住民が日用品の買物などをするための地域です。住宅や店舗のほかに小規模の工場も建てられます。

### 準工業地域



主に軽工業の工場やサービス施設等が立地する地域です。危険性・環境悪化が大きい工場のほかは、ほとんど建てられます。

### 工業専用地域



工場のために地域です。どんな工場でも建てられますが、住宅・お店・学校などは建てられません。



僕が住んでいるのは第一種住居地域。近所に工場が建つことがないんだ。だから安心して生活ができるよ。

反対に工業専用地域だと、工場のための地域だから、周辺に住宅が建たないよ。

だから思い切った生産活動が出来るんだ！